

この公表資料は当店ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス <http://www3.boj.or.jp/miyazaki/>



2021年1月28日
日本銀行宮崎事務所
日本銀行鹿児島支店

宮崎県金融経済概況

【概要】

宮崎県の景気は、このところ足踏み状態となっている。

すなわち、最終需要面をみると、個人消費は、基調としては緩やかに持ち直しているものの、足もとでは弱めの動きがみられている。観光は、再び厳しい状況にある。住宅投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、増加している。

生産は、持ち直している。

企業部門の動向を短観（12月＜鹿児島・宮崎両県集計分＞）で見ると、景況感は、持ち直しつつある。設備投資は、高水準で推移している。

こうした企業動向を反映して、雇用・所得環境は、弱い動きとなっている。

【各論】

1. 個人消費

百貨店・スーパー販売額は、前年を下回った。家電販売額と乗用車新車登録台数（含む軽自動車）は、前年を上回って推移している。

2. 観光

主要ホテル・旅館宿泊客数、主要観光施設入場者数とも、前年を下回って推移している。

3. 公共投資

公共工事請負金額は、前年を上回った。

4. 住宅投資

新設住宅着工戸数は、貸家を中心に前年を上回った。

5. 生産

鉱工業生産指数（季節調整済）は、汎用・生産用・業務用機械、その他を中心に前月を上回った。

6. 雇用・所得環境

有効求人倍率（季節調整済）は、横ばいとなった。

現金給与総額は、前年を下回って推移している。

常用労働者数は、前年を下回って推移している。

7. 物価

消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、前年を下回って推移している。

8. 金融面

預金、貸出金とも、前年を上回って推移している。

貸出約定平均金利は、緩やかな低下が続いている。

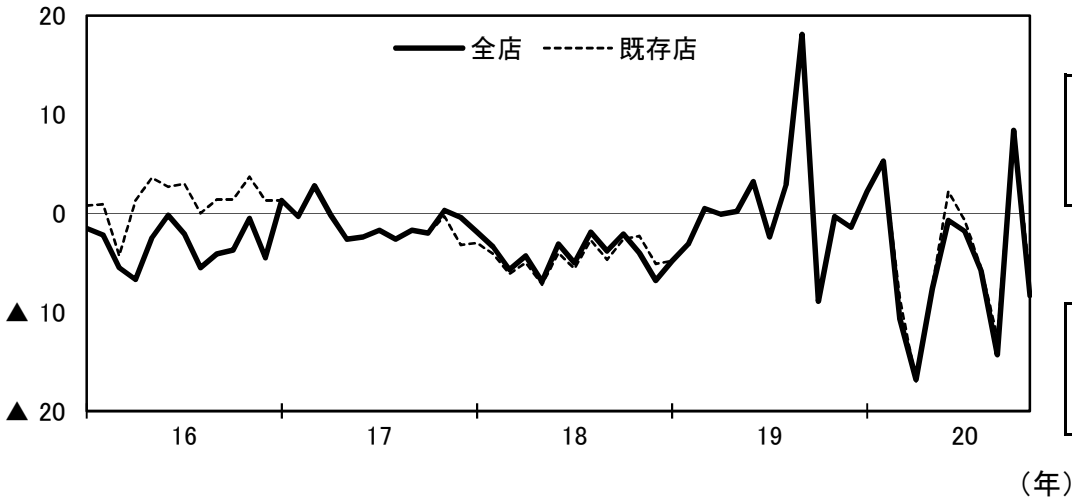
企業倒産件数は、低水準で推移している。

以 上

宮崎県主要金融経済指標

pは速報値
rは修正値

(図表1)百貨店・スーパー販売額<前年比、%>

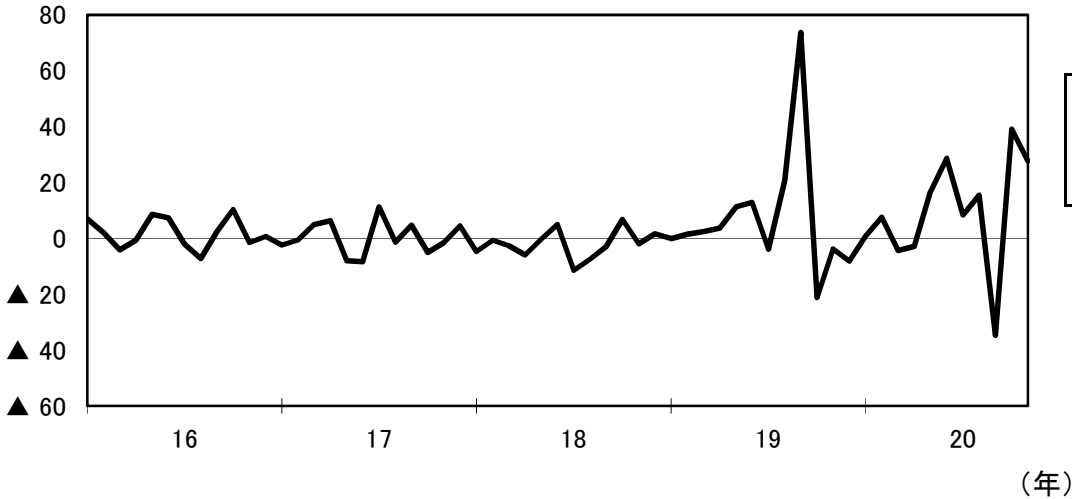


全店	
10月	+8.4
11月	▲8.3

既存店	
10月	+8.3
11月	▲6.3

(出所)経済産業省

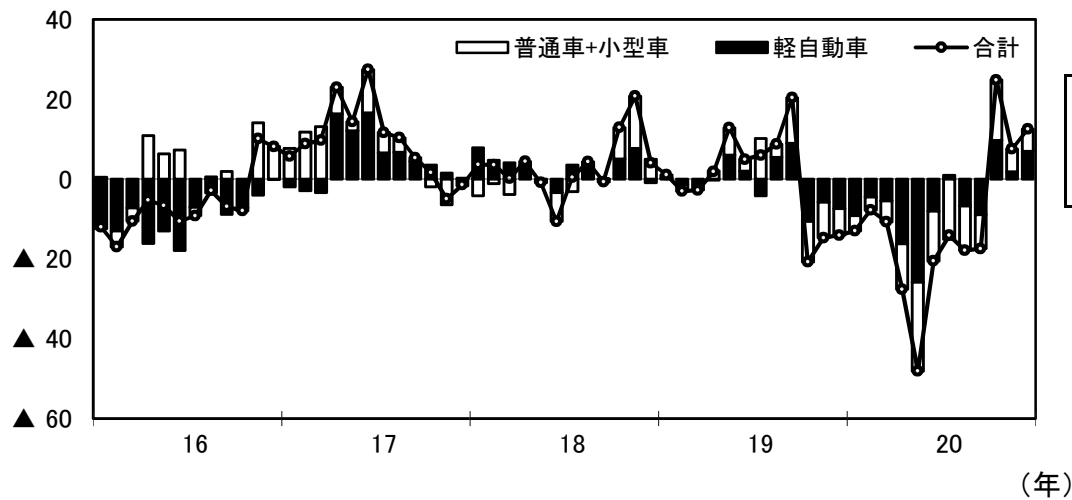
(図表2)家電大型専門店販売額<前年比、%>



10月	+39.1
11月	+27.7

(出所)経済産業省

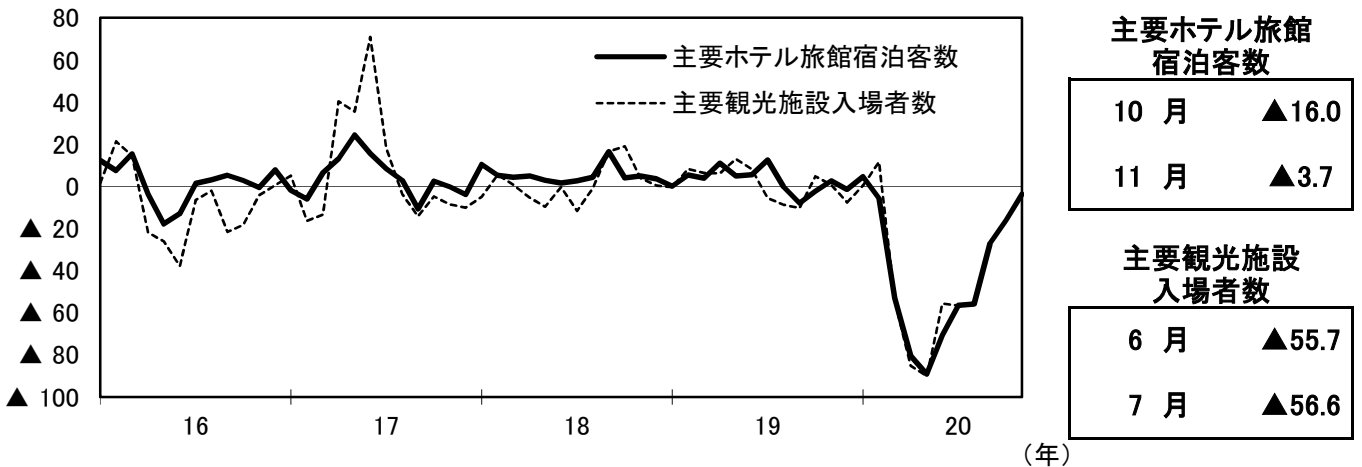
(図表3)乗用車新車登録台数<前年比、寄与度、%>



11月	+7.6
12月	+12.5

(出所)宮崎運輸支局、一般社団法人全国軽自動車協会連合会

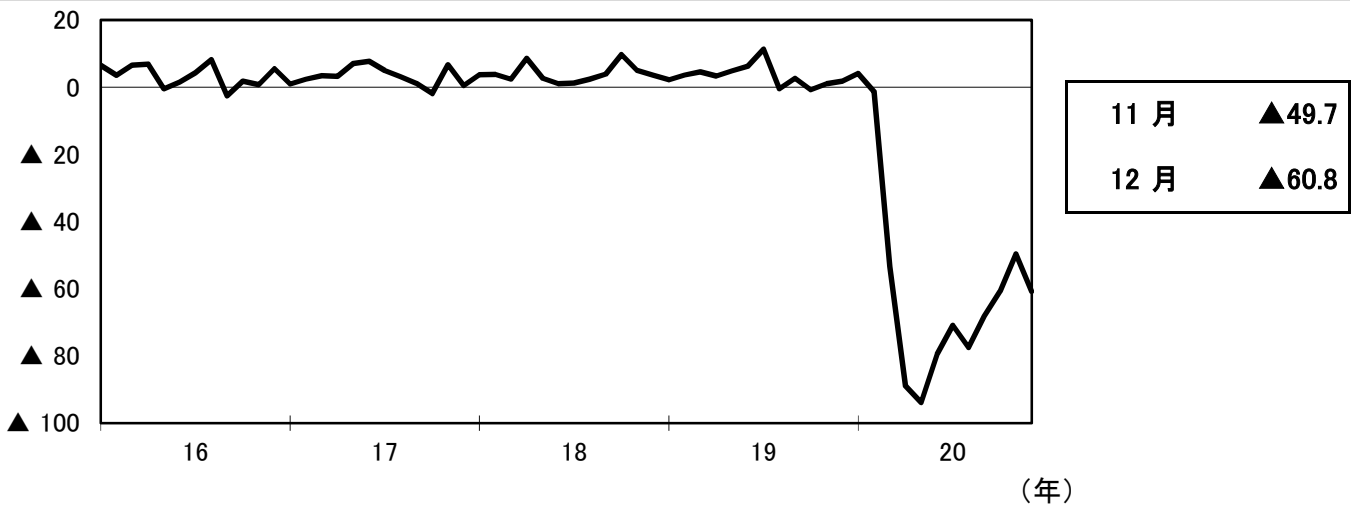
(図表4) 主要ホテル旅館宿泊客数・主要観光施設入場者数<前年比、%>



(出所) 宮崎県、日本銀行鹿児島支店

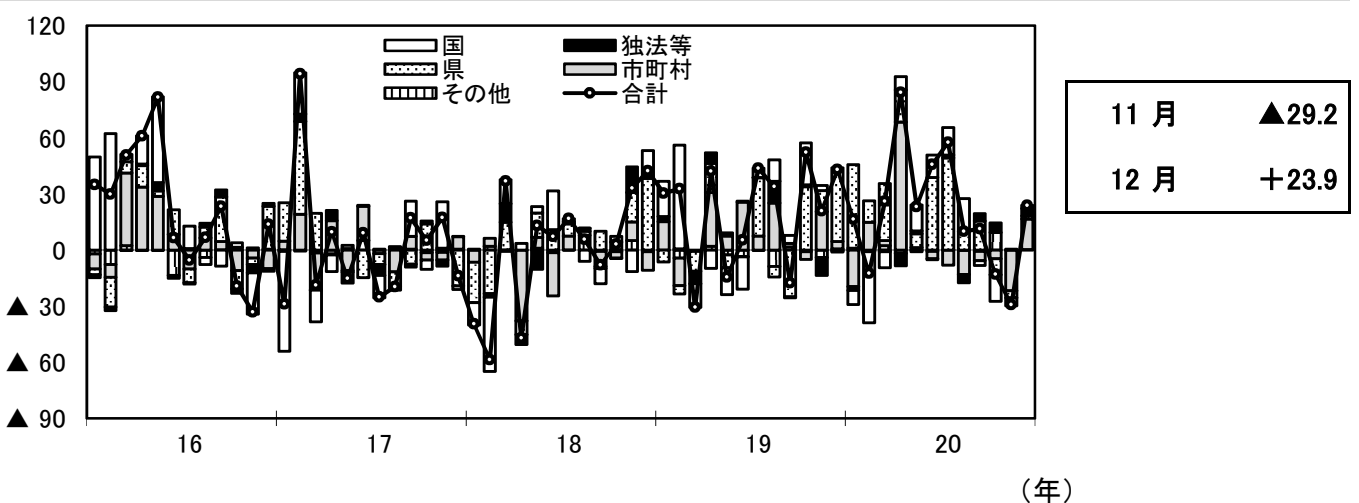
(注) 主要観光施設入場者数については、調査対象先の変更により、2017年2月以降の前年比はそれ以前と連続していない。

(図表5) 宮崎空港乗降客数国内線<前年比、%>



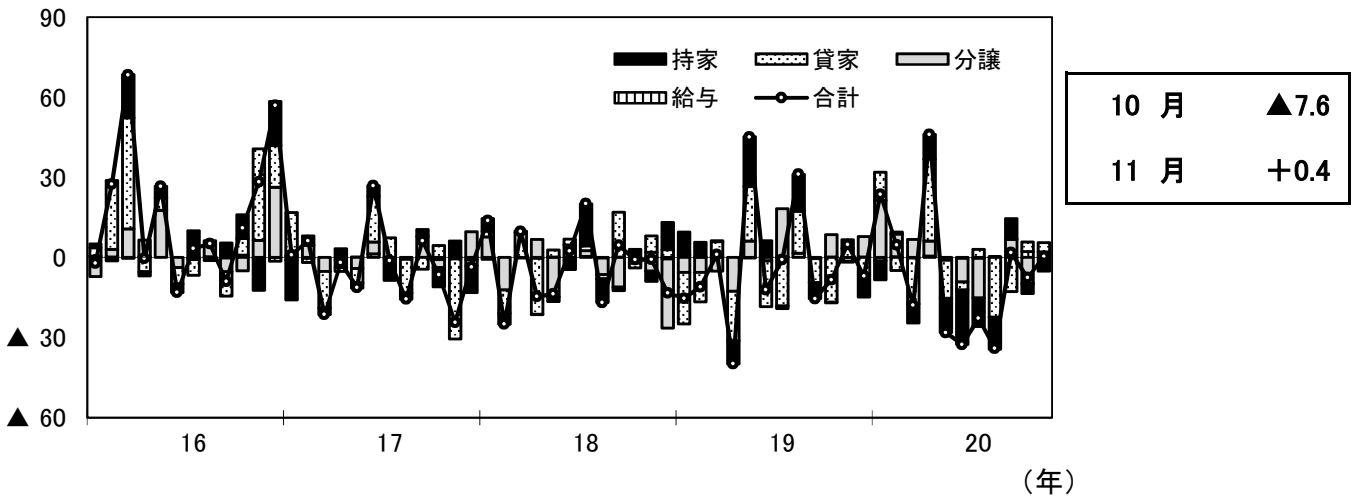
(出所) 宮崎交通航空部

(図表6) 公共工事請負金額<前年比、寄与度、%>

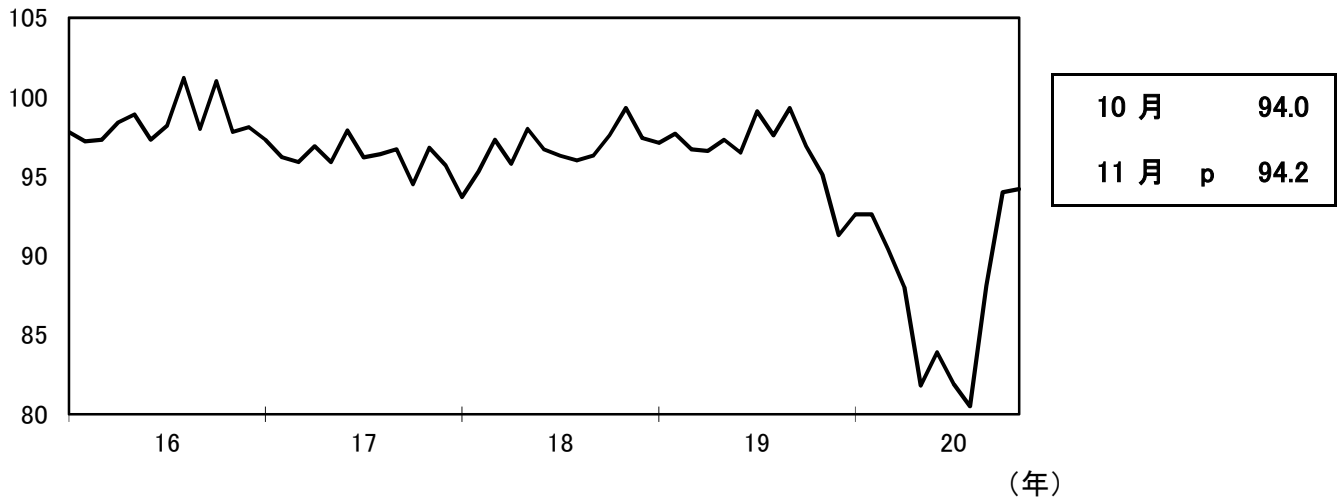


(出所) 西日本建設業保証宮崎支店

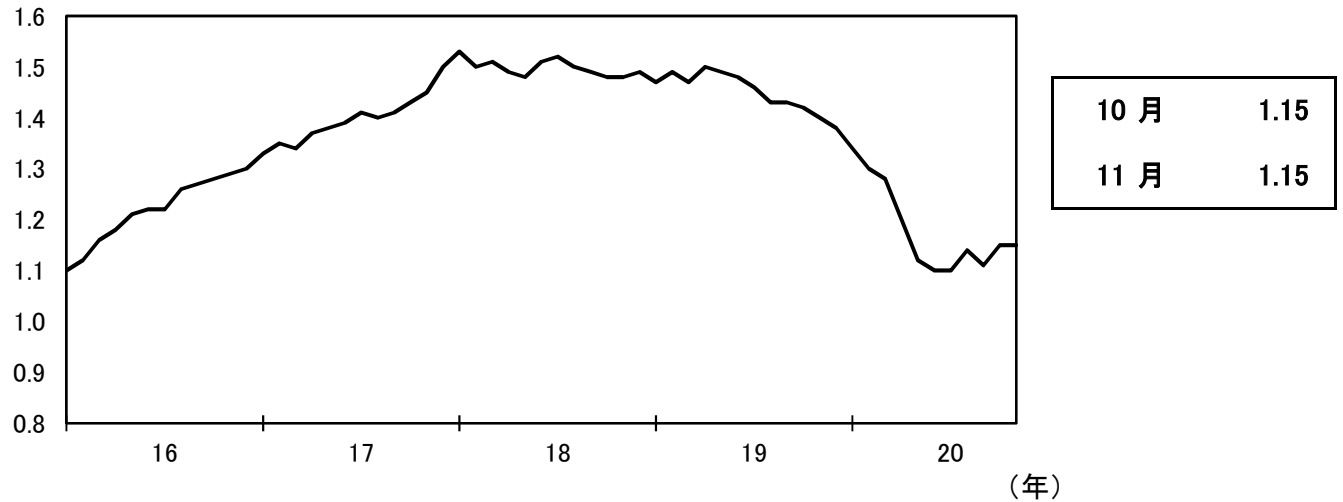
(図表7)新設住宅着工戸数<前年比、寄与度、%>



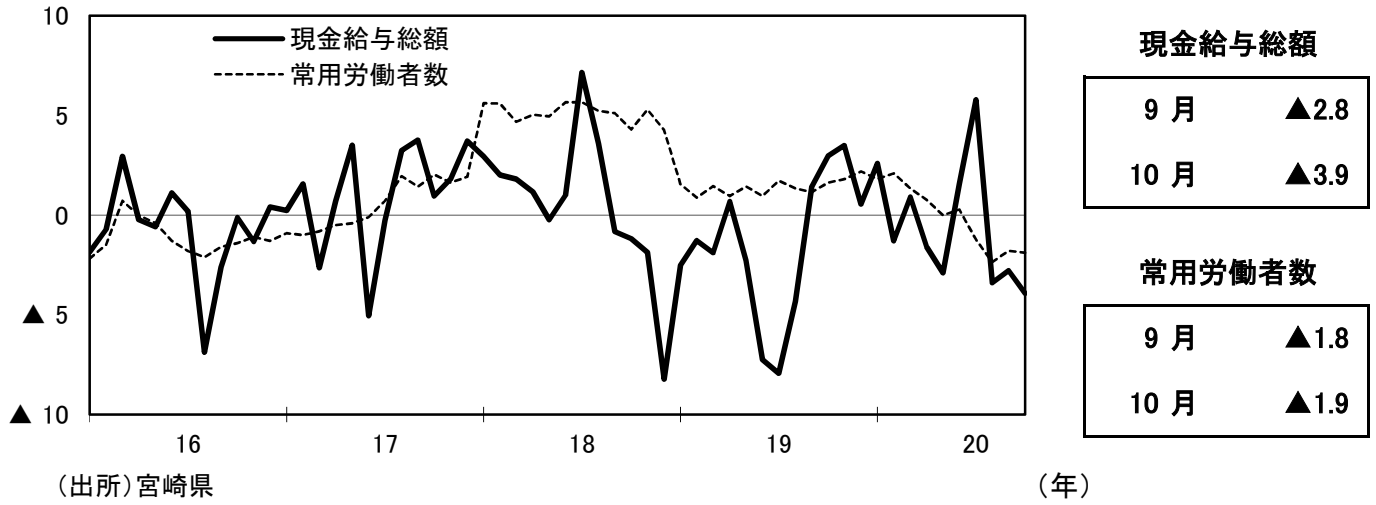
(図表8)鉱工業生産指数<季調済、15年=100>



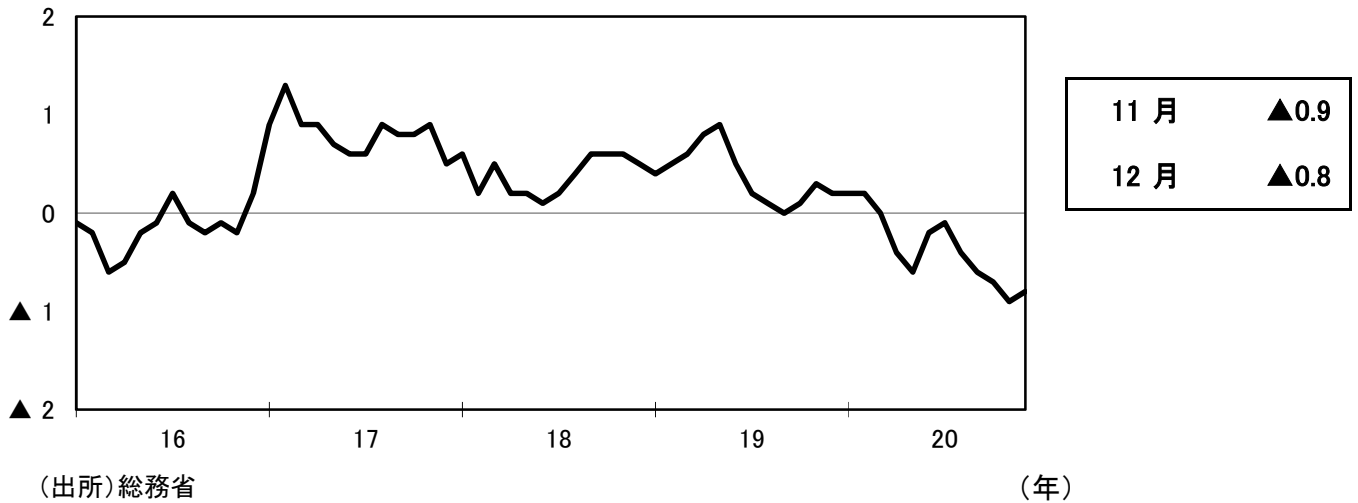
(図表9)有効求人倍率<季調済、倍>



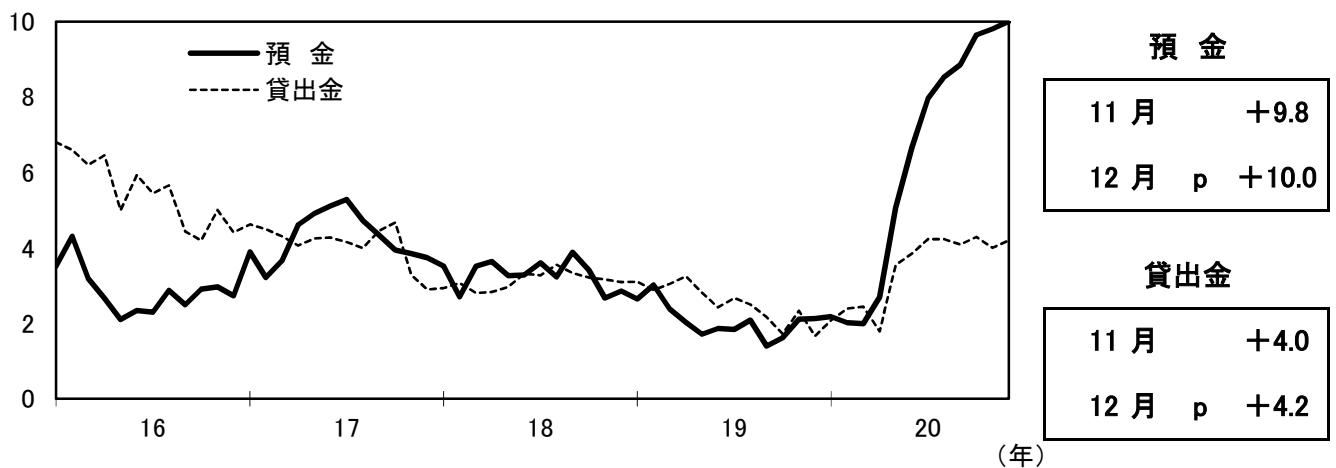
(図表10) 毎月勤労統計<事業所規模5人以上、前年比、%>



(図表11) 消費者物価指数<宮崎市、生鮮食品を除<総合、前年比、%>



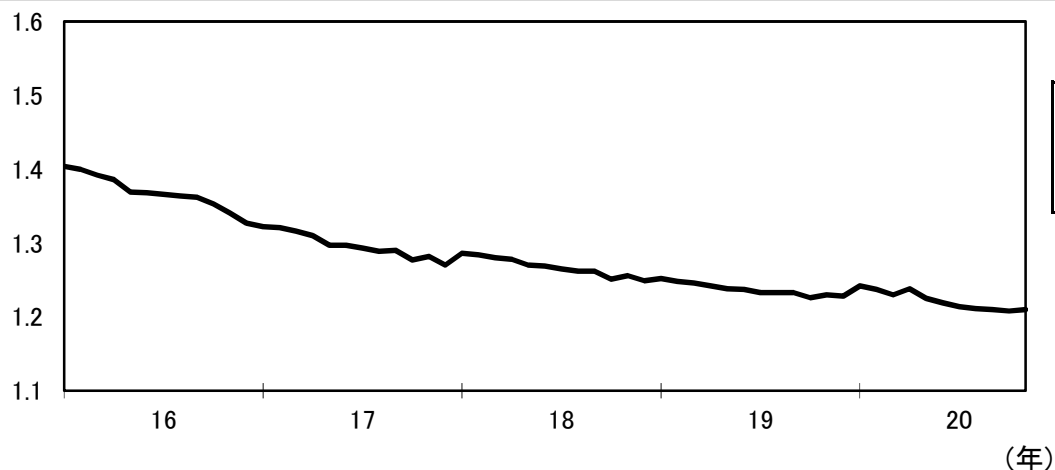
(図表12) 預金・貸出金<末残、前年比、%>



(出所)日本銀行鹿児島支店

(注)集計対象は、県内金融機関(都市銀行、信託銀行、地方銀行、地方銀行Ⅱ、信用金庫、信用組合、商工中金)。

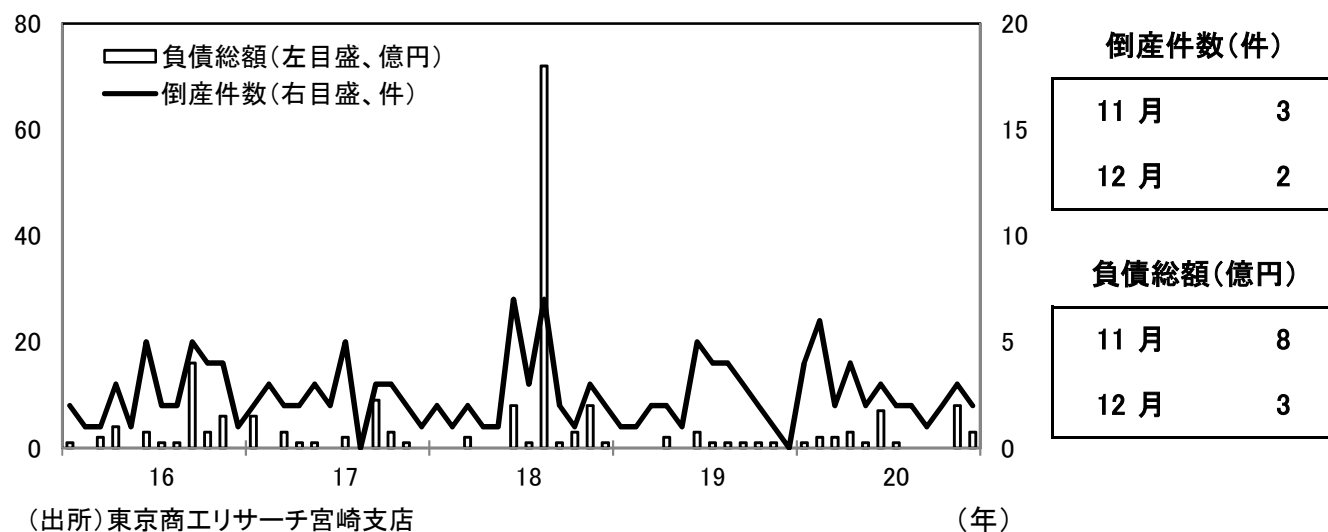
(図表13) 貸出約定平均金利(ストック総合、%)



(出所) 日本銀行鹿児島支店

(注) 月末時点の値を記載。集計対象は、宮崎県の地元金融機関(日本銀行鹿児島支店の当座預金取引先4行庫、県外店舗を含む)。
 なお、当座預金取引先の合併により、2018年1月以降の値および2020年1月以降の値はそれ以前と連続していない。

(図表14) 企業倒産件数・負債総額<件、億円>



(出所) 東京商工リサーチ宮崎支店